

~原子力の理解を求めて~

えねるぎーかわらばん

Vol. 93

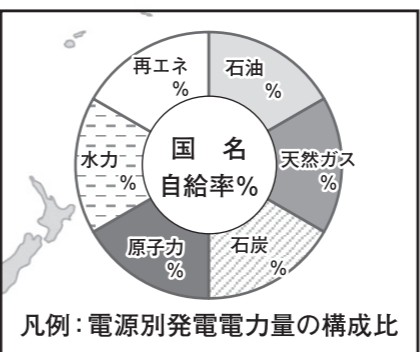
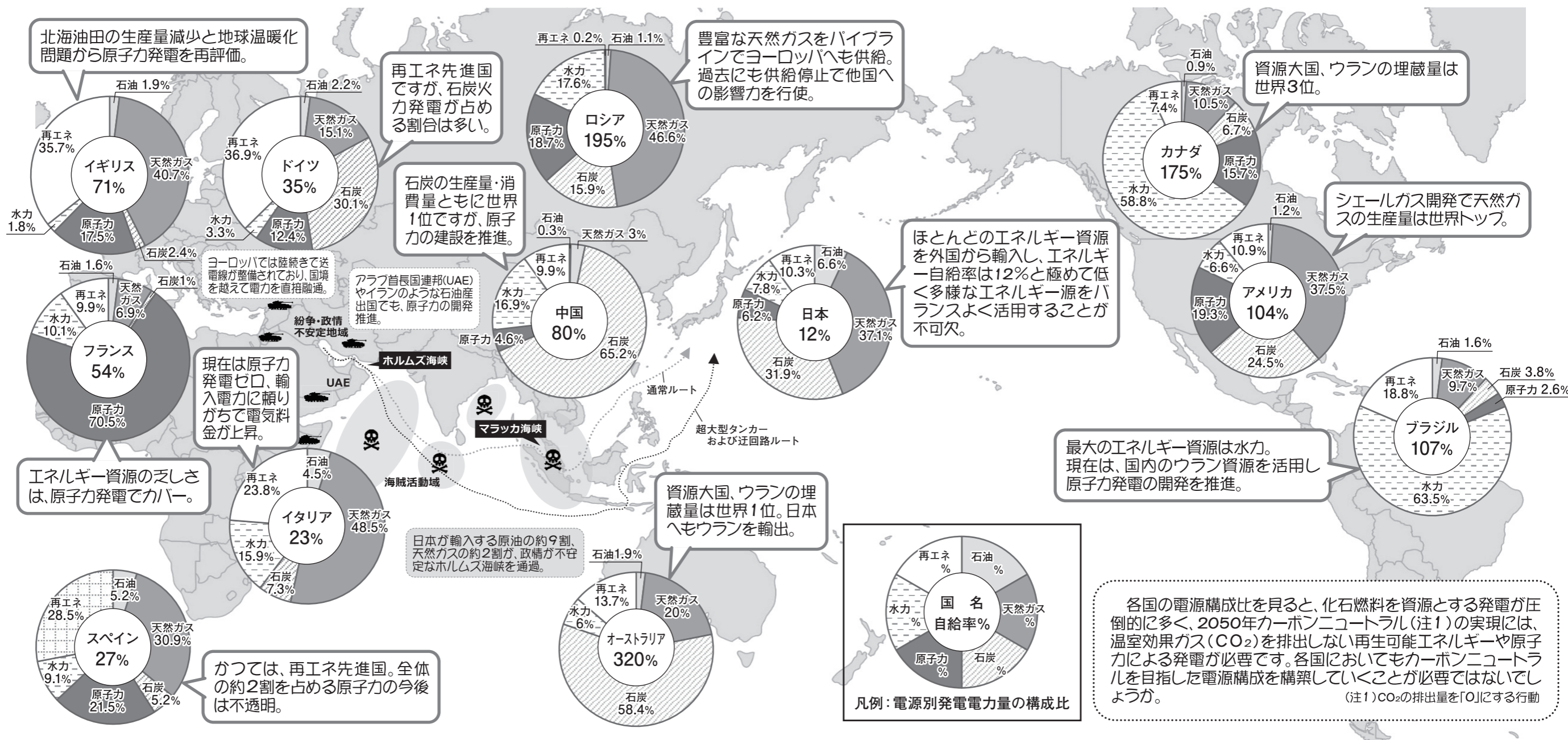
福井県原子力平和利用協議会 略称(原平協)
事務局: 敦賀市野神40-203 TEL: 0770-24-5450
原平協HP: <https://genheikyo.jimdo.com> 二次元コード▶



世界のエネルギー事情はどうなっているの?

~世界の電源構成とエネルギー自給率~

私たちが毎日使っている電気、どのような方法でどれくらい発電されているのが、エネルギー自給率はどれだけあるのが、世界の主な国別にお伝えします。

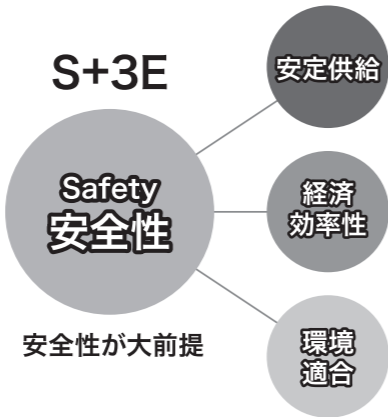


各国の電源構成比を見ると、化石燃料を資源とする発電が圧倒的に多く、2050年カーボンニュートラル(注1)の実現には、温室効果ガス(CO₂)を排出しない再生可能エネルギーや原子力による発電が必要です。各国においてもカーボンニュートラルを目指した電源構成を構築していくことが必要ではないでしょうか。

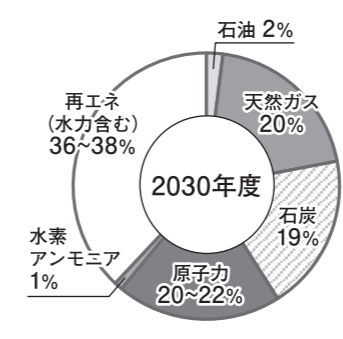
(注1) CO₂の排出量を「0」にする行動

「S+3E」の観点から、バランスのよい電源構成が大切です!!

日本のエネルギー問題を考えるうえで重要なのが、安全性(S)と安定供給、経済性、環境への適合(3E)、つまり「S+3E」の観点です。日本は「S+3E」の同時達成をめざしています。



- Energy Security (自給率)**
東日本大震災前(約20%)を更に上回る30%程度を2030年度に見込む(2019年度12.1%)
- Economic Efficiency (電力コスト)**
2013年度の9.7兆円を下回る2030年度8.6~8.8兆円を見込む
- Environment (温室効果ガス排出量)**
2050年カーボンニュートラルと整合的で野心的な削減目標である2030年度に2013年度比▲46%*を見込む
*非エネルギー起源CO₂等を含む温室効果ガス全体での削減目標



2030年度に日本がめざすエネルギーミックスです!!

原子力を含む多様なエネルギー源を組合わせた、バランスのよい電源構成・エネルギーミックスが大切です。

出典: 資源エネルギー庁「各国の電源構成」「日本のエネルギー2022」をもとに作成。
オーストラリア・ロシア・ブラジルを含め関西原子力懇談会「世界と日本のエネルギー事情」より引用。
エネルギー自給率は日本原子力文化財団「原子力総合パンフレット2021年度版」より引用。
(注) 円グラフの合計は四捨五入の関係で合計値が合わない場合があります。
電源構成・自給率のデータは2019年。